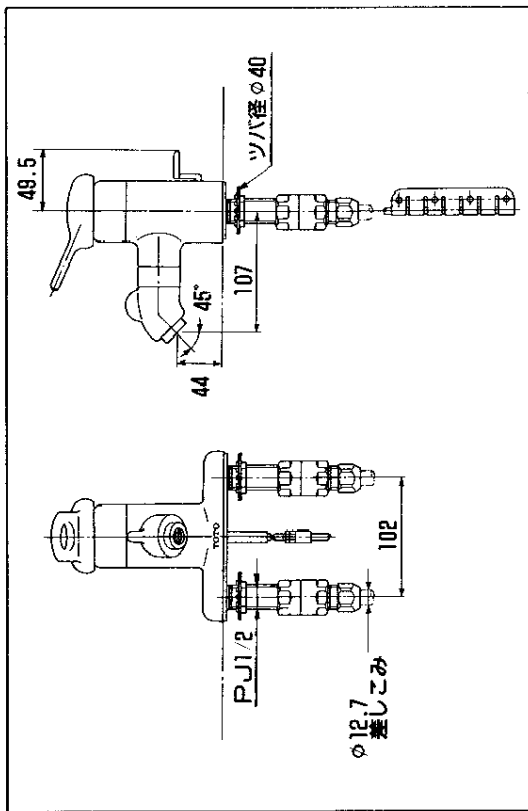


f SERIES シングルレバー混合栓取付説明書

完成図

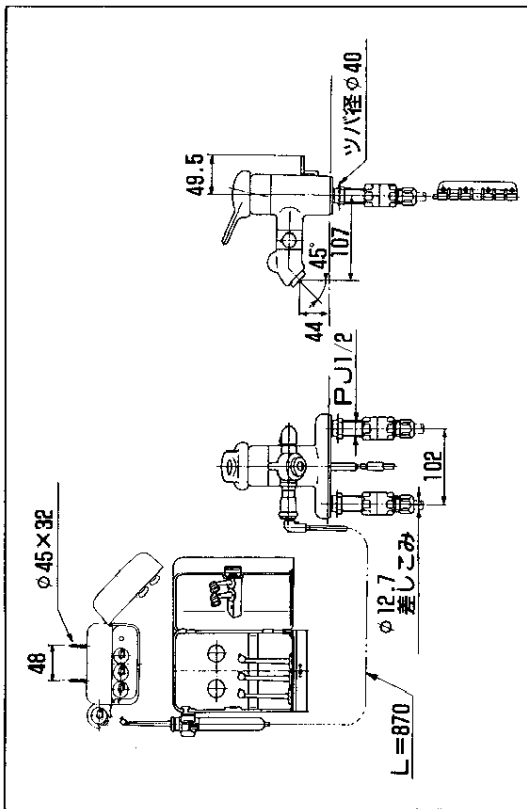
TL280A
(一般用)

TL280AF
(寒冷地用)



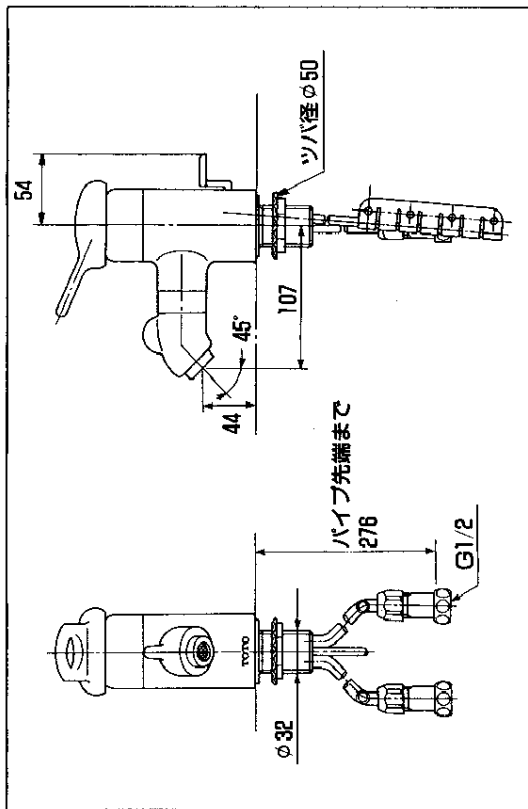
TL280AM
(一般用)

TL260AMF
(寒冷地用)

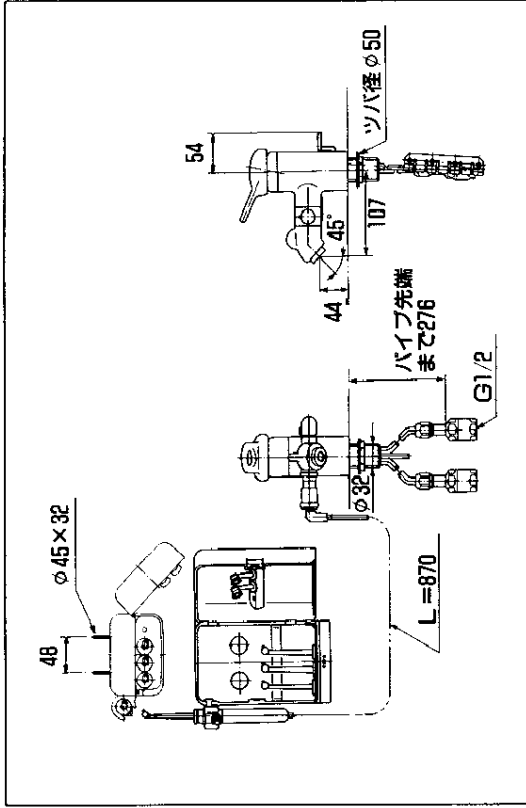


TL281A
(一般用)

TL281AF
(寒冷地用)



TL281AM TL281AMF
(一般用) (寒冷地用)



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

使用条件

1. 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組合わせる場合

(TL280A、TL280AF、TL281A、TL281AFの場合)

給水圧力 { 最低必要水圧…… (表参照)

{ 最高水圧………7.5kg f / cm²

器具入口部における最低必要水圧 (kg f / cm²)

給湯機タイプと号数		最低必要水圧
TOTO カスタム制御方式	10号	
	16号	1.2
	20号	
TOTO トリコン制御方式 (トリコン・コンタクト・ アクティ)	16号	1.0
	20号	
	24号	0.9
	アクティ③	
	32号	0.8
TOTO コマンド	16号	0.9
	24号	0.9

注) TOTOカスタムシリーズでは、給湯機の温度を60°Cにした場合、
表中の数値より0.2kg f / cm²多く必要になります。

(TL280AM、TL280AMF、TL281AM、TL281AMFの場合)
この製品は、マウスジェット及びヘアミスト使用時に、十分な水勢を
確保するため、必ず瞬間型給湯機と接続してください。
(減圧弁を使用する給湯機とは接続できません。)

給水圧力 { 最低必要水圧…… (表参照)

{ 最高水圧………7.5kg f / cm²

器具入口部における最低必要水圧 (kg f / cm²)

給湯機タイプと号数		最低必要水圧
TOTO カスタム制御方式	10号	
	16号	1.7
	20号	
TOTO トリコン制御方式 (トリコン・コンタクト・ アクティ)	16号	1.4
	20号	
	24号	1.3
	アクティ③	
	32号	1.2
TOTO コマンド	16号	1.3
	24号	1.3

注) 表中の数値は、給湯機の温度を60°Cに設定した場合の水圧を示して
います。

(設定条件)

- レバーハンドルは全開
- 給湯機温度調節は最高温に設定
- 吐水温度：40°C
- 給湯配管長さ：5m
- 水温の低い(5°C)冬期に約8ℓ/minの吐水流量を確保するのに
必要な圧力とする。

(2) 貯湯式温水器と組合わせる場合

(TL280A、TL280AF、TL281A、TL281AFの場合)

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.5kg f / cm²
{ 最高圧力………6.0kg f / cm²

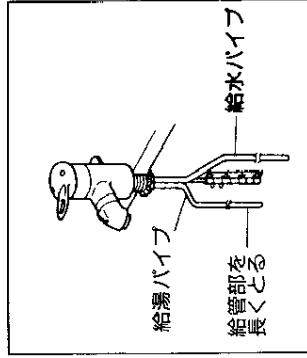
(3) 給水・給湯圧力はできるだけ、同圧になるようにしてください。
ただし、給湯に蒸気を使用しないでください。

2. 給湯に蒸気を使用しないでください。

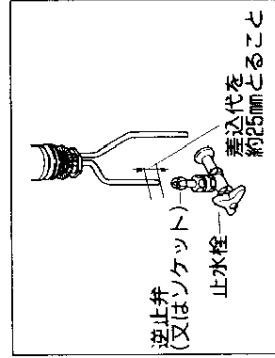
- 湯・水を逆配管しないでください。
なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

器具の取付け

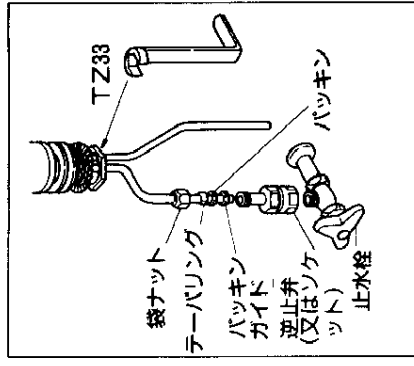
- 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 止水栓の取付け
(1)混合栓本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓の取出し位置に合うように曲げて広げてください。このとき、できるだけ直管部が長くなるようにしてください。また、給水・給湯パイプがぶれないように注意してください。



- 逆止弁(寒冷地の場合はソケット)を止水栓に仮固定した後、給水・給湯パイプの必要長さをあたり切り断してください。このとき、パイプの差込代は約25mm確保してください。

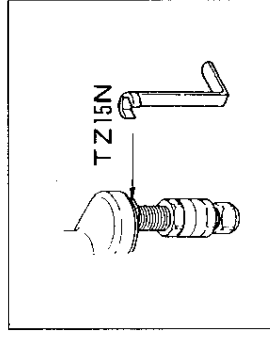


- 給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、バックキنگガイド、バックキングの順に入れて、逆止弁(又はソケット)を差込んでください。次に逆止弁(又はソケット)を止水栓にねじ込み、混合栓本体を本固定してください。固定には別売りのナット締付専用工具(TZ33)を利用して確実に閉めてください。
※混合栓本体を固定するときは、取付穴周囲の汚れを取り、セパレート紙をはがしてください。

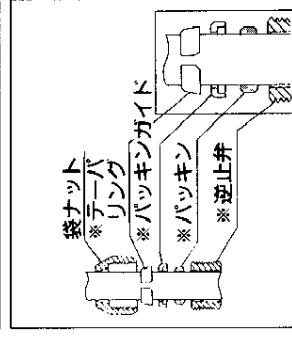


(T.L280A、T.L280AF、T.L280AM、T.L280AMFの場合)

- 混合栓本体を固定するときは取付穴周囲の汚れをとり別売のナット締付専用工具(TZ15N)を利用してナットを確実に締めてください。



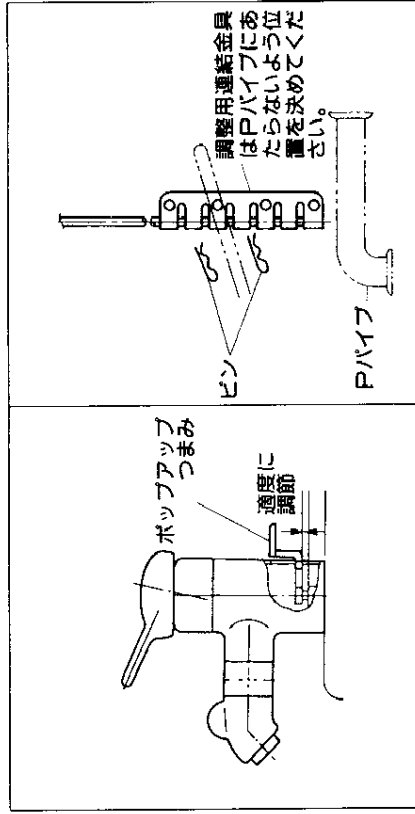
- 最後に給水・給湯パイプを逆止弁に押しつけ、袋ナットを手で強くねじ込んだ後、さらに1回転以上締付けください。



注) 給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないよう確実に固定してください。

※テーパリング・バックキングガイド・バックキングの順番、向きをまちがえないでください。

※ポップアップ式排水金具取付上の注意
ポップアップ式排水金具の施工時には、ポップアップつまみをいっばいに押し下げたとき本体及び排水管にあたらぬように適度に調節してください。



お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんは柔らかな布でふき、ときどきミニシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
2. クレンサーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので、使用しないこと。もし、マイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにマイル及び器具を十分に水洗いすること。

寒冷地の水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作とあわせて次の要領で水抜きをしておいてください。またお客様にも水抜方法をご指導ください。

- (1)レバーハンドルを中央位置（湯側・水側の中間）で下げる。
- (2)水抜きコックを開く。

分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解、点検を行ってください。

ご注意 バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

現 象	点検項目
吐水量が少ない。	1、2、6
水が止まらない。	3、4
ハンドル部から水が漏れる	1、2
吐水温度不良。	1、2
ハンドルがガタつく。	5

TL280A・TL280AF

1. 吐水栓は全開されているか
2. こみづまりはないか
3. 傷・こみつきはないか
4. 十分締付けたあるか
5. 十分締付けたあるか
6. レバーハンドル及びノズルハンドルは全開されているか。(ハンドル凸面が上)

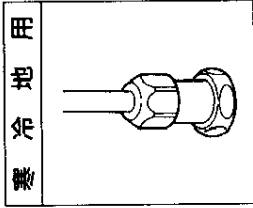
寒 冷 地 用

締付専用工具 (TZ15N)

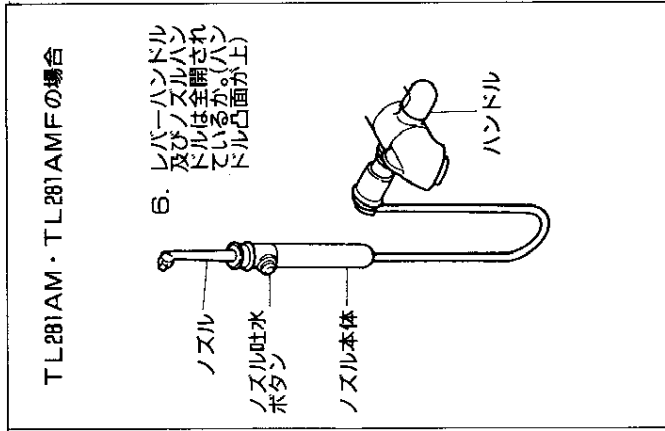
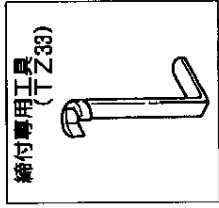
別売

TL280AM・TL280AMFの場合

6. レバーハンドル及びノズルハンドルは全開されているか。(ハンドル凸面が上)



別売



TL281A・TL281AF

